

令和4年9月26日

報道関係者 各位

香川県農業協同組合

10月16日「国消国産の日」

食・農・地域の重要性にかかる国民理解の醸成に取り組む

10月を「国消国産月間」とし「国消国産」JAグループ統一運動を展開

■「国消国産」について

「国民が必要として消費する食料は、できるだけその国で生産する」という考え方

■「国消国産」JAグループ統一運動について

JAグループは、第29回JA全国大会において、食・農・地域の実態と「国消国産」の意義等について効果的な情報発信を行い、食・農・地域の重要性にかかる国民理解の醸成などに取り組むことを確認しました。

そこで、10月16日を「国消国産の日」と定め、10月全体を「国消国産月間」として期間中、消費者の行動変容を目的に、JAグループ一体となった情報発信強化の取り組みをすすめます。

※「10月16日」は、1945年に国連食糧農業機関（FAO）が発足した日で、1981年に国連が「世界食料デー」に定めた日。これにあわせ、JA全中が2021年「国消国産の日」と制定しました。

近年のコロナ禍による食料安全保障への意識の高まりや、持続可能な社会・農業への関心の高まりなども踏まえ、最終的に消費者の行動変容に繋がる「国消国産」の意義に関する訴求内容とし、訴求対象は、相対的に「食」への関心が高く、子どもの食生活に大きな影響を与え、国産農畜産物の購買などの行動変容も期待できる「子育て世代の特に女性層」、組織・事業基盤を担うことが期待できる「若年層」としています。

（JAグループの主な取組内容）

- ・消費者の行動変容に繋げるための直売所を拠点としたキャンペーン
「#国消国産 秋の大収穫祭」直売所へ行こうキャンペーン 期間：令和4年10月1日～10月31日
コウケンテツ氏とタイアップした企画で全国1,500か所の直売所でスタンプを貯めてプレゼントに応募できます。
 - ・乃木坂46資材を活用した展開（ウェブサイト、ポスター、広告、CM素材、学習帳など）
 - ・みんなのよい食プロジェクトのチラシ等資材を活用した展開
 - ・みんなの食料安保！10,000人シンポジウム 令和4年10月13日東京コンベンションホール（オンライン併用）
- など 詳しくは、JAグループウェブサイト「国消国産」で検索をお願いします。



■香川県JAグループでの情報発信について

香川県JAグループでは、「国消国産」JAグループ統一運動に基づき、食料安全保障への意識や持続可能な社会・農業への関心の高まりなどをふまえ、各種コンテンツや農産物直売所を基点として、消費者の行動変容につながるよう「国消国産」の訴求に取り組みます。

(香川県JAグループの主な取組内容) ※イベント取材につきましては、事前にお問い合わせください。

香川県JAグループでは、JA香川中央会、各連合会、子会社、JA香川県が、国消国産JAグループ統一運動として、国消国産月間において、取り組みを行います。

○「#国消国産 秋の大収穫祭」直売所へ行こう！キャンペーン

消費者の行動変容につなげるための直売所を基点としたキャンペーン

期間：令和4年10月1日～10月31日

対象店舗：JA香川県農産物直売所（JA香川県農産物直売所情報につきましては、当JAウェブサイトをご覧ください）

内容：農産物直売所店頭のパスターで、QRコードを読み込みスタンプを貯めます。抽選で秋を楽しむ豪華賞品やコウケンテツ氏考案の秋の旬食材レシピなどが当たります。

○乃木坂46 資材を活用した情報発信

県内民放5局でのCM放送、地元紙への広告掲載、イベントでの学習帳配付など

○林修先生資材（「10.16 国消国産の日」1000万人キャンペーン学習資材「みんなの食料安全保障」）

当JA広報誌「きらり」への掲載

○産地直送通販サイト「JAタウン」内に国消国産の日キャンペーン

特設サイトを開設し、送料無料キャンペーンを実施

期間：令和4年10月13日～11月末まで（既定数に達し次第終了）



○「国消国産」街頭宣伝活動

期間：10月11日（火）～14日（金）11時～13時30分（予定）

場所：高松丸亀町老番街前ドーム広場（11、12日）、ことடன்瓦町駅2階コンコース（13日）、高松駅前広場（14日 ※雨天時は香川県JAビル）

内容：「国消国産」に関する理解促進リーフレットを配布するほか、国産農畜産物に対する意識等についてアンケート調査を行い、協力いただいた方に「おいでまい無菌パック」をプレゼントします。また、「国消国産」等に関するクイズに全問正解した方から抽選で香川県産農畜産物をプレゼントします（「以下、共通内容」という。）

○さぬきマルシェへの出展

期間：10月16日（日）10時～15時 場所：サンポート高松シンボルタワー周辺

内容：共通内容ほか、香川県産農産物の詰め放題やオリーブ牛コロケの販売等、香川県産農畜産物をPRします。

○香川大学祭への出展

期間：10月29日（土）～10月30日（日） 場所：香川大学 幸町キャンパス

内容：共通内容ほか、アンケートに協力いただいた香川大学生には追加でJA香川県オリジナルカレーをプレゼントします。

○国消国産のオンラインイベント「考えよう！食と農の未来」への参加

日時：令和4年10月16日（日）13時～15時（YouTube視聴可能）

内容：著名人（工藤阿須加さん他）による、日本の課題である国消国産や地方と農業の現状などを語り合うトークセッションとオンライン参加者が事前送付した全国各地の産品を試食しながら、生産者や農業に携わる方々の思いなどを聞く2部制。当JAからは、役員と生産者が出演し、おいでまいやオリーブ牛の加工品を紹介します。

添付：・秋の大収穫祭 直売所へ行こうキャンペーン ・みんなのよい食プロジェクトリーフレット

【本件に関するお問い合わせ先】

JA香川県 総合企画部 総合企画課 担当：佐野 電話087-825-1233

JA香川中央会 総合対策部総合対策課 担当：入船・中西・田中 電話087-825-2503

※情報提供：JA香川県 総合企画部 総合企画課 電話：087-825-1233

コウケンテツさん
presents

こくしょうこくさん

みんな #国消国産

秋の大収穫祭

直売所へ行こう！キャンペーン

実施期間 10/1(土) ▶▶ 10/31(月)

全国各地にあるJA直売所でスタンプを貯めると、
豪華賞品が当たるキャンペーン実施中！

こくしょうこくさん

国消国産とは

国民が必要とし消費する食料は、できるだけその国で生産するという考えを「国消国産」と言います。

「国消国産」は私たちの生活に深く関わっています。現在、日本の食料自給率は37%で過去最低の水準になっており、私たちの食を取り巻くリスクは年々高まっています。

この秋は、直売所で秋の食材を楽しみながら、「国消国産」を実践してみませんか？

キャンペーン参加方法

STEP 01

直売所へ行こう！

STEP 02



店内ポスターの
QRコードを読み込み、
スタンプを貯めよう！

STEP 03

何度も訪れ、
貯まったスタンプ数に応じた
豪華賞品を手に入れよう！

※全国各地の直売所でスタンプを獲得出来ます。※一部、キャンペーンを実施していない直売所もございます。※スタンプの獲得は一人様につき1日1回まで。
※同じ直売所でもスタンプを貯めることが出来ます。※お一人様何回でも応募可能です。

＼スタンプ2個以上獲得した方の中から 総勢 **15,000** 名様に豪華賞品が当たる！／

スタンプ
3個

抽選で1,000名様(各250名様)に当たる！

好きなコースを選んで応募！秋を楽しむ豪華賞品



※画像はイメージです。

スタンプ
2個

抽選で14,000名様に当たる！

JA タウンクーポンコード
1,000円分

¥1,000
COUPON

＼スタンプ1～2個で全員すぐにもらえる！／

スタンプ
2個

コウケンテツさん考案！
秋の旬食材のレシピ
牛肉と揚げ根菜の華やか炒らし



スタンプ
1個

コウケンテツさんが教える！
秋の旬食材の選び方
アドバイス



持続可能な
社会・環境に
「よい食」

「よい食」につながる国消国産

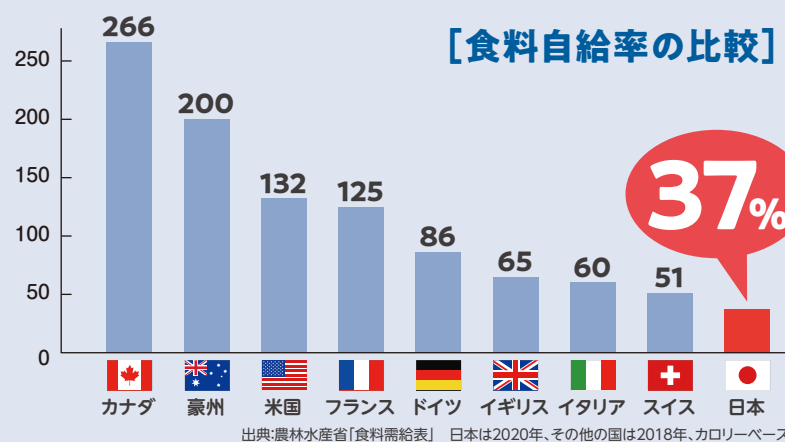
- 日本の食料自給率はわずか37%※。
いざという時、心配ないように、
食料自給率を向上させていくことが
大事です。それがみんなのよい食の
実現につながっていきます。

※農林水産省 2020年 カロリーベース

- JAグループは、「国」民が必要とし
「消」費する食料は、できるだけその
「国」で生「産」する…「国消国産」
の考え方を提唱しています。



- それは農業を支えることにもつながり
ます。農地には洪水や土砂崩れを防
いだり、環境や景観を守るなどの「多
面的機能」があります。農業を支える
ことは、日本の国土の安心や豊かさを
守ることにもつながります。



「林修先生と学ぶ国消国産」動画はこちらから。



「よい食」でSDGsの実現に貢献

- 世界の人口は2030年には約
85億人になると予想され※、
世界的な食料不足が心配な
状況といわれています。「よい
食」や「国消国産」をすすめる
ことは、食料を輸入に依存し
ないということにつながり、
それは持続可能な食料の生産
と農業の振興、そしてSDGsの
達成に貢献します。

※国際連合広報センター

- 地元のものを食べる「地産地
消」は、地域社会と農業を元
気にし、SDGsが目指す、住み
続けられるまちづくりの実現
や、「国消国産」をすすめるこ
とにもつながります。



JAグループとSDGsに
ついてはこちらから。



わたしのよい食は、みんなのよい食に、つながっている。

みんなのよい食 プロジェクト

自分と家族のために。農業と地域のために。
わたしたち一人ひとりにできる「よい食」があります。
それは、持続可能な社会や環境に
とっての「よい食」にもなります。
あなたも「よい食」
してみませんか？

わたしと
家族に
「よい食」

朝からしっかり食べて
一日を元気にスタート

よく噛んで食べて
体や脳の働きを活発に

栄養バランスを考えて
毎日健康な食生活を

楽しく手づくりで
食材への愛も深まる

「旬」のものを食べると
美味しくて栄養たっぷり

料理を工夫して
食材をムダなく使う

農業と
地域に
「よい食」

ファーマーズマーケット
を利用して地産地消

国産の農畜産物を食べて
日本の農業を応援

農業体験などに参加して
農業の大切さを学ぶ

農業まつりなどに参加して
地域の食や文化を学ぶ

持続可能な
社会・環境に
「よい食」

食料自給率アップ
に貢献

海外からの輸送による
CO2排出を削減

食品ロスを削減

地域の活性化を実現

農業・農村の持つ
多面的機能を守る

飢餓ゼロの世界に
向けて貢献

みんなのよい食
プロジェクトを
応援しているよ。
よろしくね！



えみ
笑味ちゃん
7歳・小学2年生
口ぐせは「パク！」

©みんなのよい食プロジェクト



「みんなのよい食プロジェクト」のサイトはこちらからご覧ください。

耕そう、大地と地域のmiraい。



／さあ今日から、わたしのよい食、はじめよう！／

耕そう、大地と地域のmiraい。



あなたのために、農業のために、地域社会のために、
子どもたちの未来のために。

今、JAではさまざまな「よい食」の
取り組みを進めています。

ここではその一例をご紹介します。

- 紹介した取り組みの名称は、JAによって異なることがあります。
- 開催や募集については、各JAのホームページなどをご覧ください。お近くのJAにお問い合わせください。



© みんなのよい食プロジェクト

いっしょに作ると、親子の絆も
食への愛情も育まれる。

親子料理教室

- 親子料理教室は、子どもたちが主役となり親と力を合わせて料理に挑戦することで、子どもたちの食への関心を高め、いつも料理をしてくれる方への感謝の気持ちを育むことにつながります。
- 初めはぎこちない子どもたちも、親子で力を合わせて挑戦していくなかで、料理の楽しさに目覚め、親子の絆も深まります。
- 地元の食材を使ったり、地域の伝統料理を作ったりすることなどを通じて、地域の農業がもたらす恵みや、郷土の味、食文化を知る機会にもなります。



わたしと
家族に
「よい食」



生活の一部に農作業を取り入れ
食と農への想いを深める。

市民農園

- 市民農園とは、農家ではない方々が、家族単位などで小さな面積の農地を利用して、ノウハウを学びながら、野菜や花などを育てる取り組みのことです。
- 生活の一部に農作業を取り入れ、土に親しみながら作物の成長を見守ることができます。家族などで協力しながら、手塩にかけて育て、実り、食べるというプロセス全ての楽しさや苦労を共有することで、毎日の「食」への感謝も増します。
- 農業のやりがいを実感することで、市民農園からスタートして、本格的なプロの生産者を目指す方も、増えています。



だれでも自宅や学校でお米作りを一から体験できる。

バケツ稲

- バケツ稲とは、文字通り「バケツで育てる稲」のことです。バケツと土さえ用意すれば、自宅の庭やベランダ、校庭など、どこでもスペースをとらず、手軽にお米作りの体験を始めることができます。
- JAグループでは、子どもたちが稲作を体験し、農業を身近に考えるきっかけになってほしいとの思いから、バケツ稲セット（種もみ、肥料、栽培マニュアル等）を配布しています。

※詳細は「JA バケツ稲」で検索



農業と
地域に
「よい食」

土や農作物とふれあい
農業の楽しさを体験する。

農業体験

- 店頭に並んだ農産物や食卓に載った料理からだけでは、実際に育っているところをイメージすることが難しいため、農業の現場を実体験してもらう取り組みが農業体験です。
- 実際に土に触れ、植え付けや収穫などを体験することで、大地がもつ豊かな生命力を全身で感じ、農業の楽しさや大変さを実感する機会となります。
- 収穫した農産物で料理を作る親子料理教室を合わせて開催することもあります。「食」と「農」の繋がりを知ること、毎日の「食」と、その「食」を生み出す「農」を大切にする心を育みます。



採れたての地元産には、生産者の想いがつまっている。

ファーマーズマーケット

- 生産者の名前や顔写真が載っているものもあり、「安心感」も魅力です。さらに、地元ならではの珍しい農産物や、素材を生かした生産者手作りの加工品などにも出会うチャンスです。
- JAファーマーズマーケットは、地元で生産されたものと消費者を結ぶ拠点であり、また、近年では、生産者・地域住民の交流の場と



持続可能な
社会・環境に
「よい食」

裏面を
見てね



地域のつながりを深め、地域の食や文化も学べる。

農業まつり・JAまつり



- 農業まつり・JAまつりは、地域の特色を活かし、旬の農畜産物などの即売会はもちろん、様々な工夫をこらした内容で、小さなお子さんから高齢者まで、地域とのつながりを深めることができる恒例のイベントです。
- JAによっては、生産者が作った郷土の味を楽しめるコーナーなどもあり、地元産の農畜産物の豊かさを知り、地域の食や文化に関心を持つ絶好の機会となります。

子どもたちの未来のために、地域みんなで助け合う。

子ども食堂 食材の提供

- JAグループは、子ども食堂の支援に取り組んでいます。子ども食堂を独自に開設しているJAや、NPOなどと連携して運営するJAなど、地域の実態に応じた支援をしています。多くのJAでは、地域の子どもの食堂へ食材を提供しています。
- 地元の新鮮な食材を中心に提供することで、子どもたちの心と身体の健康と成長を応援しています。
- コロナ禍によって子ども食堂の役割はますます重要となっていますが、JAグループはこれからもJA女性組織やJA青年組織とも連携しながら、地域に根ざした協同組合として「助け合い」の取り組みをすすめます。

